

湯来ふるさと新聞

第153号（平成30年3月6日発行）

738-0513
広島市佐伯区
湯来町伏谷 535
湯来ふるさと
プロジェクト
☎0829-86-1439

こんにゃくの下ゆで作業

2月10日（土）に、今年収穫されたこんにゃく芋を湯がいて、冷凍する作業をしました。

作業した農改Cの調理室からはモクモクの湯気が発生！近所の人は驚いたかもしれせん。



五月末には種芋の植え付けですが、今後は各自の畑でこんにゃく芋を栽培することになりました。農業は天気とタイミングを逃がさないことが大事です！これまでのごとく草刈りや肥料のタイミングを逃し、十分な収穫量とはいきませんでした。今後は各自で頑張りましょう。

狐原山で天狗巣病対策

2月18日（日）に、狐原山で、桜の天狗巣病対策をしま

した。脚立や梯子、高枝切鋏等を、各自が持参しての作業でした。
思っていたよりは天狗巣病は少ない...と思いましたが、密植のせいでしょうか、枝が横に広がらず、上にスーッと伸びている桜が目につきました。



作業の後半は、発酵油粕と鶏糞の施肥です。施肥のポイントは、桜の根元ではなく、枝先の下に、穴を掘って肥料を埋めることです。

4月8日（日）のお花見の時には、綺麗な花が咲きますように。

可部線マルシェに参加

3月4日（日）、安佐北区安芸亀山で行われた可部線延伸1周年を記念したイベント「終着駅マルシェ」に参加し

ました。

今回は、地元の長井女性会さんに「しし汁」を伝授したので、湯来プロは「しし肉の串焼き」を販売しました。

3日の準備では、タレに付けておいたしし肉を、きちんと量って、串に刺しました。



イベント当日、会場で炭火をおこしてしし肉を焼くと、いい香りが漂いました。片手にビールのおとうさんから子どもさんまで、しし肉の串焼



きを頼張ってくれて、準備した100本は完売しました。このほか、寿司、漬物、こんにゃくなども販売しました。

イベント会場では、台唐で搗いた餅の即売、ミニ機関車の乗車体験、ステーション発表のほか、可部の名産品、北広島町の卵、安芸太田町の神楽饅頭、地元作家の各種作品や、手相占い、子ども向きのワークショップなどがあつて、お花見イベントの参考にもなりました。2周年記念も声をかけてください。がんばりまうす。



こんにゃくの出来を比較

平成28年5月に「赤城大玉」という品種のこんにゃく芋を試験的に栽培しました。地芋より病気に強く、玉太りが良いという品種です。

先日、同じ日に、いつもと同じようにそれぞれ、こんにゃくをつくって見たところ、舌触り、色、味が微妙に違いました。



赤城大玉のこんにゃくは、煮物向き...との感想です。機会がございましたら、食べ比べてみてください。そして、感想を聞かせてください。

お知らせ

●3月25日（日）に、農村環境改善センターで「湯来・新フェスタ」が開催されます。町内で薪を生産して、薪を使って、地域を元気にしようというテーマの講演会（10時〜12時15分）と、薪で焼いたピザ、パンの販売、薪ストーブの展示、薪アートのパネル展示等、各種催し（12時30分〜15時）がありますのでご参加ください。

●3月の定例会は、10日（土）午後7時から、湯来南公民館で行います。4月8日（日）の「2018 みんなでお花見in狐原山」の作業と打ち合わせをしますので、集まってください。今後、集まりが増えますのでご了承を！